

FP-10

取扱説明書



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

取扱説明書（本書）

最初に読んでください。基本的な使いかたを説明しています。

リファレンス・マニュアル（PDF マニュアル）

FP-10のすべての機能について説明しています。

また「故障かな?と思ったら」や「内蔵曲一覧」も載っています。

PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<http://www.roland.co.jp/manuals/>

2. 製品名「FP-10」を選んでください。



主な仕様

ローランド FP-10: デジタル・ピアノ

音源	ピアノ音	スーパーナチュラル・ピアノ音源
鍵盤	88 鍵（PHA-4 スタンダード鍵盤：エスケープメント付き、象牙調）	
電源	AC アダプター	
消費電力	4W（3～6W）	
	4W	ボリュームを中央にしてピアノ演奏したときの消費電力の目安
	3W	電源投入後、音を鳴らしていない状態の消費電力
	6W	定格消費電力
外形寸法	譜面立てをはずした場合	1,284（幅）× 258（奥行）× 140（高さ）mm
	譜面立てを付けた場合	1,284（幅）× 298（奥行）× 324（高さ）mm
	譜面立てと専用スタンド KSCFP10 を付けた場合	1,284（幅）× 298（奥行）× 929（高さ）mm
	譜面立てをはずし専用スタンド KSCFP10 を付けた場合で、転倒防止部品を含む	1,284（幅）× 343（奥行）× 745（高さ）mm
質量	譜面立てをはずした場合	12.6kg
	譜面立てと専用スタンド KSCFP10 を付けた場合	20.0kg
付属品	取扱説明書、譜面立て、AC アダプター、電源コード（AC アダプター接続用）、ペダル・スイッチ、保証書、ローランド ユーザー登録カード	
別売品	専用スタンド（KSCFP10）、スタンド（KS-12、KS-20X、KS-10Z）、ダンパー・ペダル（DP-10）、キャリングケース（CB-88RL、CB-76RL）、ヘッドホン	

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.6））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

演奏する前に

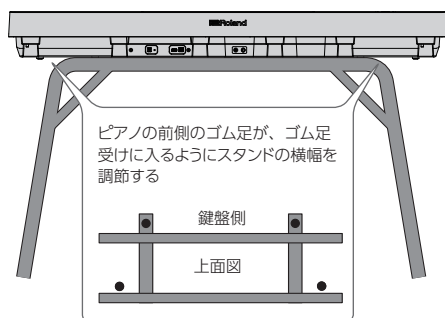
スタンドに設置する

FP-10 をスタンドに設置するときは、当社製のスタンド KSCFP10（KSCFP10 の取扱説明書をご覧ください）、KS-12、KS-20X、KS-10Z をご使用ください。

スタンドに設置するときは、指などをはさまないよう、十分にご注意ください。

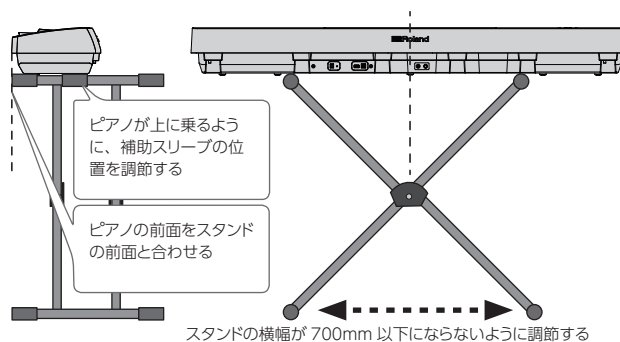
KS-12

スタンドの高さは一番低い位置に調節します。

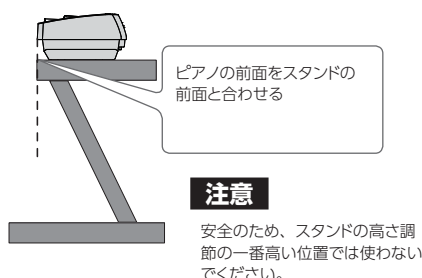
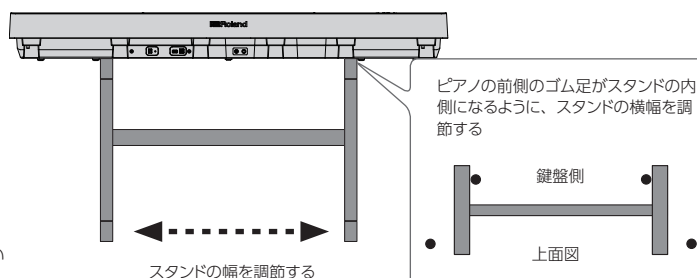


KS-20X

ピアノとスタンドの中心を合わせる



KS-10Z



スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください。

正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

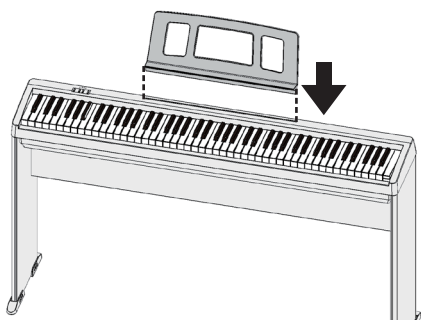
転倒に注意！

転倒防止のため、FP-10 に無理な力を加えたり、絶対に上に乗ったりしないでください。



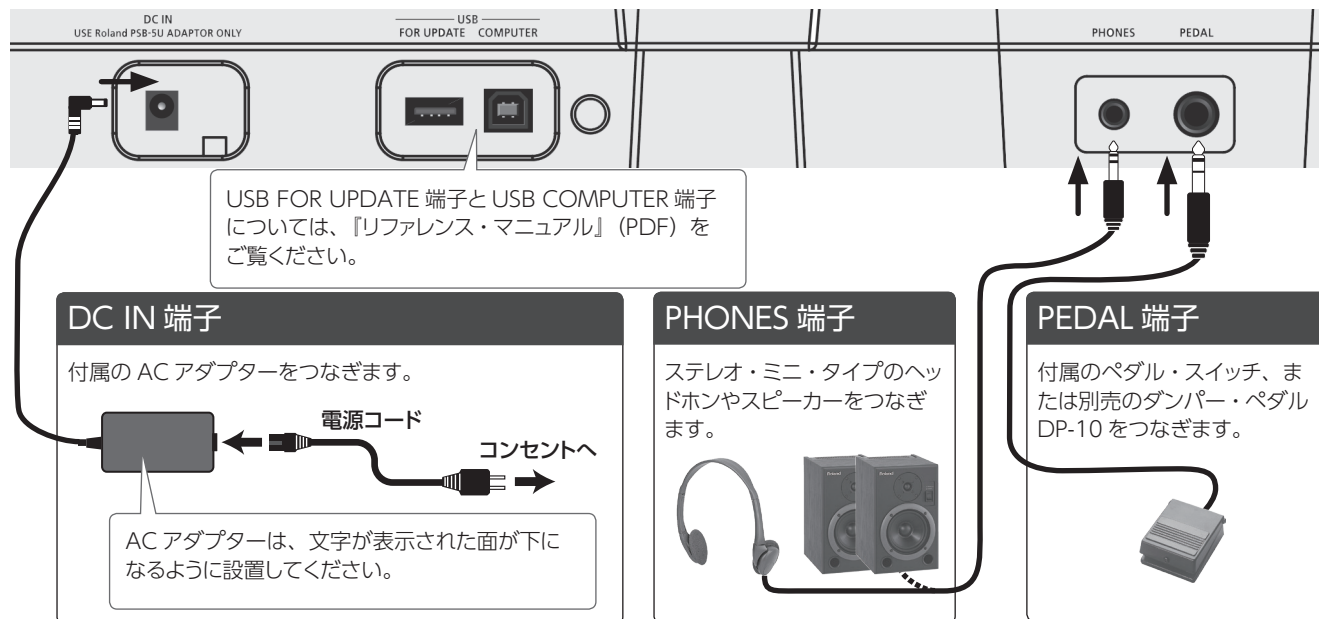
譜面立てを取り付ける

FP-10 本体上面のスリットに、譜面立てを差し込みます。



機器をつなぐ (リア・パネル)

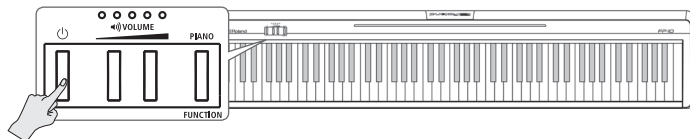
※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



電源を入れる／切る

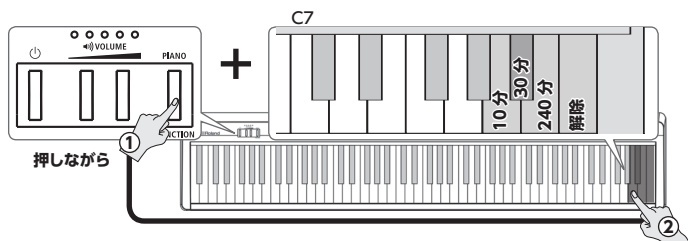
[⏻] (電源) ボタンを押すと、電源が入ります。

また、[⏻] (電源) ボタンを 1 秒以上押すと、電源が切れます。



一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ)

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (オート・オフ機能)。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください。



オート・オフ

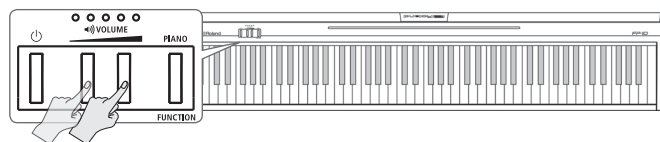
10 分、30 分、240 分、解除
(オンのまま) (初期値: 30 分)

- 電源が切れると編集集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください (『リファレンス・マニュアル』(PDF)「設定を保存する (メモリー・バックアップ)」)。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

音量を調節する

2 つの [VOLUME] ボタンで音量を調節します。

[VOLUME] (右) ボタン	音量が大きくなります。
[VOLUME] (左) ボタン	音量が小さくなります。

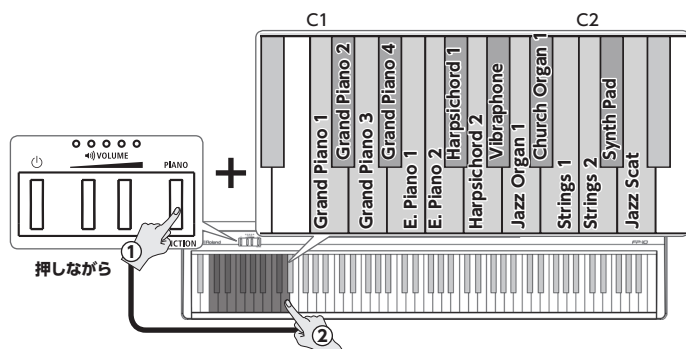


本体スピーカーを使用するときは内蔵スピーカーの音量、ヘッドホンに接続するときはヘッドホンの音量を調節することができます。

※ 音量に応じて [VOLUME] ボタンの上にあるインジケータの点灯する数が増減します。すべて点灯すると音量が最大になります。すべて消灯すると音は鳴りません。

FP-10 本体で設定する

音色を選ぶ



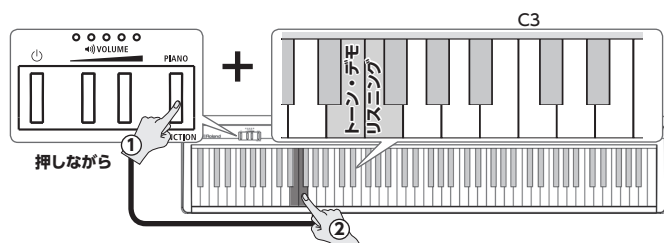
- 2つの鍵を同時に押すと、2つの音色を同時に重ねて鳴らすことができます。このような演奏を「デュアル演奏」と呼びます。
- [PIANO] ([FUNCTION]) ボタンを押すと、Grand Piano 1 が選ばれます。

内蔵曲を再生する

内蔵曲一覧は『リファレンス・マニュアル』(PDF) にあります。

曲を再生／停止する

1. カテゴリーを選びます。

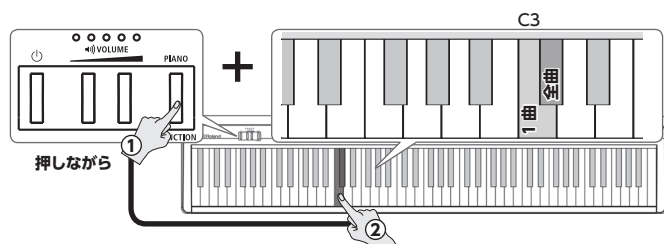


カテゴリー リスニング、トーン・デモ (*1) (初期値:リスニング)

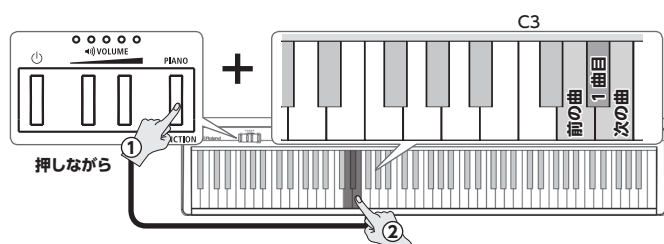
*1 内蔵音色の特徴を表現したデモ曲です。

2. カテゴリー内の曲を全曲再生、または1曲再生します。

[FUNCTION] ボタンを押しながらもう一度同じ鍵盤を押すと、停止します。

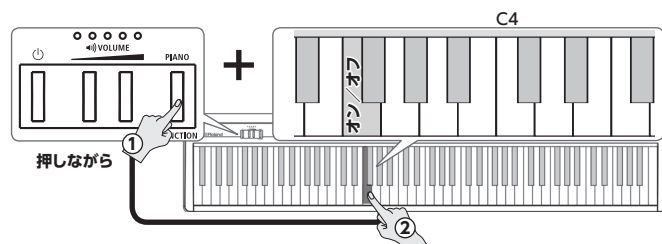


他の曲に変える

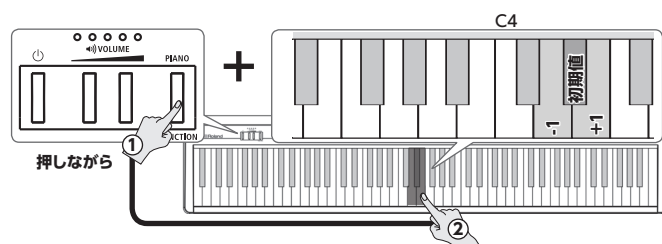


メトロノームを鳴らす

メトロノームをオン／オフにする

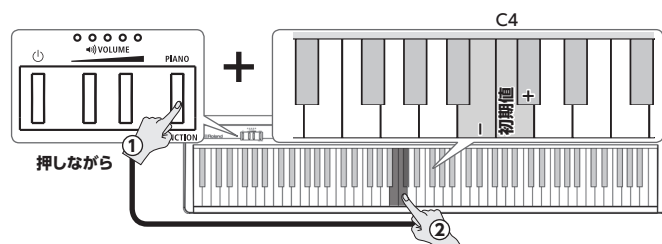


メトロノームの音量を変える



メトロノームの音量 1 ~ 10 (初期値:5)

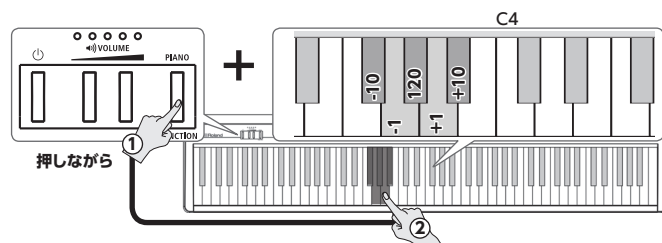
拍子を変える



拍子 0/4 (*2), 2/2, 3/2, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/4, 7/4, 3/8, 6/8, 8/8, 9/8, 12/8 (初期値:0/4)

*2 メトロノームを鳴らすと、すべての拍が同じ音で鳴ります。

テンポを変える

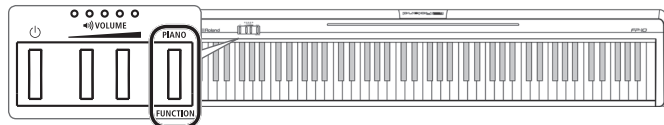


テンポ 10 ~ 500

モバイル機器で動くアプリと接続する

スマートフォンやタブレットといったモバイル機器にアプリをインストールして、**Bluetooth** 機能で接続することにより、アプリを通して FP-10 の状況をモバイル機器の大きな画面で確認したり、操作したりすることができます。

Bluetooth 機能で接続すると、[FUNCTION] ボタンが点灯します。



ここでは、FP-10 の楽しさを広げるアプリ Piano Partner 2 のことや、そのアプリを使うための接続のポイントを紹介します。

例として、iPad を使った設定方法について説明します。

Android 機器をお使いの場合、Bluetooth 機能の設定のしかたについてはお使いの製品の取扱説明書をご覧ください。

Piano Partner 2 と接続する

Piano Partner 2 は iOS や Android に対応したローランド製アプリです。

iPad などのタブレットと FP-10 をつないで、ピアノの楽しさを広げることができます。

FP-10 本体の内蔵曲を譜面表示したり、音あてゲームで楽しく基礎力を身に付けたりすることができます。タブレットの大きな画面を使うので操作も簡単です。

詳しくは以下をご覧ください。

<http://roland.cm/pianopartner2>



Bluetooth 接続するためのポイント

接続の手順について詳細は、『リファレンス・マニュアル』（PDF）をご覧ください。

- モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



- Piano Partner 2 の設定画面から接続できます。
モバイル機器の Bluetooth 画面からでは接続できません。



- Piano Partner 2 の設定画面にある [Bluetooth MIDI デバイス] をタップして、[FP-10] をタップします。



Bluetooth 接続ができないときは？

- Android 6.0 以降でお使いのときは、Android の位置情報をオンにします。
- 以下の手順で、接続をやり直します。

① モバイル機器のすべてのアプリを終了する。

ホームボタンをダブルクリックして、アプリ画面を上からスワイプします。



② ペアリングされている場合は一度解除し、Bluetooth 機能をオフにする。

1. モバイル機器画面の「接続済み」横にある「i」をタップして、「このデバイスの登録を解除」をタップします。



2. Bluetooth スイッチをオフにします。



③ 『リファレンス・マニュアル』（PDF）をご覧くださいながら、接続をやり直す。

再度操作をやり直してもアプリと接続できない場合は、ローランドお客様相談センターにお問い合わせください。

安全上のご注意

警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.3)。



指定のスタンドを使用する

本機の設置には、ローランドが推奨するスタンド (型番:KSCFP10、KS-12、KS-20X、KS-10Z) を使用してください (P.2)。



不安定な場所に設置しない

本機の設置にスタンド (型番: KSCFP10、KS-12、KS-20X、KS-10Z) を使用する場合は、ぐらつくような場所や傾いた場所に設置せず、安定した水平な場所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な場所に設置してください。



警告

スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください (P.2)。

正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



注意

指定のスタンドのみ使用する

本機は当社製のスタンド (KSCFP10、KS-12、KS-20X、KS-10Z) とのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。



スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。



移動するときの注意

本機を移動するときは以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の間に落としたりしないように注意してください。



- ・ 機器本体とスタンドを固定しているネジがゆるんでいないか、確認する。ゆるんでいる場合は、しっかり固定する。
- ・ 電源コードをはずす。
- ・ 外部機器との接続をはずす。
- ・ 譜面立てをはずす。

使用上のご注意

設置について

- ・ 鍵盤の上にものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- ・ 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

鍵盤の取り扱いについて

- ・ ペンなどで書き込みをしたり、印を付けたりしないでください。インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなります。
- ・ シールなどを貼ったりしないでください。粘着力の強いシールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色したりすることがあります。
- ・ ひどい汚れを落とすときは、研磨剤が入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷がつかないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

- ・ 演奏時の打鍵音や振動は床や壁を通じて意外によく伝わります。周囲に迷惑がかからないように注意しましょう。
- ・ 譜面立てを使用するときは、譜面立てに強い力を加えないでください。

電波に関する注意

- ・ 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本製品を分解/改造する
 - ・ 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
- ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) や特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、アマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。
 - ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・ 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等 (たとえば、パーティションの設置など) についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - ・ その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
 - ・ 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

- ・ 三者の著作物 (音楽作品、映像作品、放送、実演、その他) の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。

- ・ 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (音声波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど) の著作権は当社が保有しています。
- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (ただしデモ曲などの楽曲データは除く) を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布することに関しては、当社の許諾を必要としません。
- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- ・ 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「FeParts™」が搭載されています。
- ・ **Bluetooth®** のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ・ 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- ・ 本製品は Jansson (<http://www.digip.org/jansson/>) ソースコードを使用しています。Copyright © 2009-2016 Petri Lehtinen <petri@digip.org> Released under the MIT license <http://opensource.org/licenses/mit-license.php>
- ・ Roland, SuperNATURAL, Ivory Feel は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。